

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>仙台市子育てふれあいプラザ長町南</p>	<p>女子トイレの水を流すボタンが押しづらいという声があった（押しボタンとレバーの両方の装置があるが、押しボタンのみ使えるようになっていた）</p>	<p>レバーでも流せるようにセンサーの感度が伝わるようにした。おおむね好評で、その後苦情はない。</p>	<p>平成30年12月</p>
<p>仙台市子育てふれあいプラザ長町南</p>	<p>保育園・幼稚園情報を置くトレイを増やした。</p>	<p>以前より資料が見やすくなったと評価を得ている。</p>	<p>平成30年6月</p>
<p>子育てふれあいプラザ若林</p>	<p>小学生に対し、こどもひろばでの約束を目で見てわかるよう写真を入れたものを用意し、来館した時に伝えるようにした。</p>	<p>保護者だけではなく、小学生本人にも伝えることで、約束を守る利用者が増えた。</p>	<p>平成30年4月</p>
<p>小松島児童館 ※（特非） MIYAGI子どもネットワークが運営</p>	<p>利用者より、夏の暑さに対して何か対策を講じてほしいという声をいただき、団体負担で図書室、工作室にエアコンを設置した。</p>	<p>利用者から、暑い日でも快適に過ごせるようになったとお声をいただいた。</p>	<p>平成31年1月</p>
<p>小松島児童館 ※（特非） MIYAGI子どもネットワークが運営</p>	<p>利用者より、冬期中のトイレ便座が冷たく、何か対策を講じてほしいというお声をいただき、貼るタイプの便座シートを導入した。</p>	<p>利用者から、快適に利用できるようになったとお声をいただいた。</p>	<p>平成31年1月</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
鹿野児童館 ※（特非） MIYAGI子ども ネットワークが 運営	利用者より、夏の暑さ対策として何か講じてほしいという声をいただき、団体負担で図書室、工作室にエアコンを設置した。	利用者から、暑い日でも快適に過ごせるようになったとお声をいただいた。	平成31年1月
市名坂児童館 ※（特非） MIYAGI子ども ネットワークが 運営	乳幼児親子の要望を受けて、砂場の整備と夏場のプール開放日の増設を行った。	乳幼児親子に良く活用され、利用者も増加中である。	平成30年6月
市名坂児童館 ※（特非） MIYAGI子ども ネットワークが 運営	なかよしルームの2室に団体負担でエアコンを設置した。	利用者が快適にくつろぐ様子がよく見られるようになった。	平成31年1月
市名坂児童館 ※（特非） MIYAGI子ども ネットワークが 運営	乳幼児親子の要望を受けて、バウンサー、歩行器、踏み台等の細やかな備品を設置した。	乳幼児親子の利便性が増し、利用者も増加中である。	平成31年3月
富沢児童館 ※（特非）仙台 YMCAファミ リーセンターが 運営	アンケートに赤ちゃん専用の部屋が週に1～2回欲しいという声があったことから、毎週金曜日に、乳児専用スペースや乳児行事を行った。	初めて児童館に来る方が金曜日に増え、赤ちゃんや保護者のコミュニケーションの場になっている。	平成30年5月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
原町児童館 のびすく宮城野 ※（特非） MIYAGI子ども ネットワークが 運営	視覚障害者の利用に伴い、各部屋入口に点字シール（部屋の名称）を貼り、点字の館内案内図を作成し受付に設置した。また、点字の絵本を購入し、保護者と子どもと一緒に楽しめるようにした。	利用者から感謝の言葉をいただいた。また、児童館利用の小学生在が点字に興味を持ち学びになった。	平成30年4月
原町児童館 のびすく宮城野 ※（特非） MIYAGI子ども ネットワークが 運営	ひろばのおむつ交換台が1台のみだったため、混み合うことが多く、ひろばにもう一台おむつ交換台を設置した。	おむつ交換の待ち時間が無くなったことで、子どもがぐずること少なくなり快適に利用していただけようになった。	平成30年4月
原町児童館 のびすく宮城野 ※（特非） MIYAGI子ども ネットワークが 運営	相談事業の充実のため、事務室内のスペースを工夫し専用の相談スペースを確保した。	事務室の一面に相談ができるスペースを確保した。相談者からは、周りを気にせず相談ができるとの声をいただいた。	平成30年4月
向陽台児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	屋外のスペースを活用して、幼児専用の“すまいるテラス”としてオープンした。	いつでも利用でき安心して遊べるとの評価を得ている。	平成31年2月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
向陽台児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	交流スペースにカレンダー形式の行事予定 表のボードを設置した。	分かりやすいとの評価を得ている。	平成30年4月
南小泉児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	館内の掲示板に児童館からのお知らせコー ナー枠を設置し、行事のお知らせ等を1か 所にまとめた。	その他のポスター等との区別が付き、児童館からのお知らせ が利用者に伝わりやすくなった。	平成31年2月
南小泉児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	来館者受付の台が低く、乳幼児をだっこし て記入する際にかがむと子どもがひっくり 返る危険性が見られたため、乳幼児親子の 受付用に小さな台を設置し、高くした。 （写真あり） 	だっこで記入する乳幼児の親が大きくかがむ必要がなくな り、危険が減った。	平成31年2月
西多賀児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	乳幼児親子向けの図書貸出について、限ら れた曜日ではなく、開館時は随時貸出可能 に変更した。また、貸出期間も2週間に拡 大した。	利用者からは、いつでも遊びに来た時に借りることが出来、 期間も長くなったことで評価を得ている。	平成30年12月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
西多賀児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	小学生長期休業期間中に、乳幼児の遊ぶスペースを確保することが困難だったため、昼の時間帯を乳幼児限定タイムとして遊戯室を開放した。	「乳幼児タイム」の時間は、乳幼児専用遊具で遊ぶことが出来、安心して過ごすことが出来ている。利用者の方からも利用しやすいと評価を得ている。	平成31年3月
貝ヶ森児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	図書室の畳スペースを3畳から増やし、8畳にした。	ゆったりとしたスペースで読書や遊びができるようになったと好評を得ている。	平成31年2月
木町通児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	乳幼児親子対象のランチタイムの時間を拡大した。前年度までは11:30～13:00だったが、30年度から9:00～14:00とし、小学生の帰りが早い時や行事等はお便りで知らせる等配慮した。	時間を拡大したことで、幼稚園帰りの親子連れでランチルームがあふれることもあり、市民センターから別の部屋を借りることもあるほど利用者数が激増した。	平成30年4月
木町通児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	図書室に幼児コーナーを常設した。カーペット敷きでおもちゃの棚を置きゆっくり過ごせるコーナーにした。	図書室でいつでも乳幼児が遊べるコーナーができたことで静かに長時間遊べると好評である。	平成30年4月
川前児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	館が主催する地域運営委員会の中で、地域で色々な行事を実施すると母親の参加が殆どで父親の参加がとても少ないという意見を受け、土曜日に親子で参加できる活動を増やした。	スポーツ系の活動、科学系の活動、体験型の活動等を計画し実施した。定員を超える申し込みがあったり、多くの父親の参加があったり、家族が応援に来たりするなど、期待通りの成果があった。	平成30年4月


接遇等市民サービスの改善の成果の事例

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
杵江児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	外部から届く各種案内チラシを模造紙と封筒で作ったポケットに入れ、集会室の壁面に張り出すことで、利用者が見やすく手に取りやすくした。	利用者から、「見やすくなった。」と好評を得ている。	平成31年1月
中野栄児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	図書室の乳幼児向き絵本を乳幼児の目の高さに合わせて低く設置し直した。小さなサイズの絵本が多いため、板組を作り、表紙が見えるように展示したり、変化をつけて並べた。	幼児が自分で興味ある本を、気軽に手に取り読み始める姿が見られるようになった。乳幼児の保護者から「大変見やすくなりました。」との声を頂いている。	平成31年2月
六郷児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	他施設との併設であるため、児童館用のインターホンの位置表示を掲示した。また、このことについて児童クラブ保護者説明会の時に画像付きで利用法をお知らせした。	児童館用インターホンの表示を付けたことで、併設の他施設と間違えて押す方が減った。	平成30年3月
六郷児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	併設の市民センター体育館が夏季は高温になり危険なこと、夏休みに児童クラブの利用者が多いことで遊戯室が手狭に感じられることから、市民センターの和室で乳幼児親子向けの遊びのひろば「にこにこ元気ひろばスペシャル」を夏休み中に二回開催した。	涼しい和室で熱中症の心配がなく幼児親子が遊ぶ時間を確保できたことに加え、夏休み中の小学生有志ボランティアが幼児と一緒に遊ぶことで、異年齢児交流を図ることもできた。	平成30年7～8月
遠見塚児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	来館者から見にくさを指摘されていた館内表示について、重要度にしたがって数を減らすとともに、伝えるべき内容の明確化、分かりやすさの確保に取り組んだ。	特に、企画予定表をシンプルに表示することで理解しやすくなったとの感想を得るなどのほか、館全体の明るさや整然とした環境の確保に繋がっている。	平成31年2月


接遇等市民サービスの改善の成果の事例

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>沖野マイスクール児童館</p> <p>※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>学校の中にあるため、どこに児童館があるのか分かりにくく、校舎の中に足を踏み入れることにも敷居の高さを感じて児童館へ行きづらいという声を地域の方からいただいた。そのため、児童館の場所と入り方が分かりやすくなるような表示の設置を学校の許可を得ながら行った。</p>	<p>マイスクール児童館の場所と入口が以前より分かりやすくなったという声が地域の方から聞かれるようになった。学校の中なので仕方がないところもあるが、さらに訪れやすくしてもらえるように応援するからという嬉しい声もいただけるようになった。</p>	<p>平成31年3月</p>
<p>七郷児童館</p> <p>※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>児童クラブの保護者から、病気が流行っている時は知らせてほしいとの要望があった。そこで、児童の罹患情報を玄関に設置されているホワイトボードに書くようにし、注意喚起をするようにした。</p>	<p>保護者から「知らせてもらってよかった」「自宅でも予防に努める」などの言葉をいただいた。</p>	<p>平成31年1月</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>七郷児童館</p> <p>※（公財）仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>幼児の保護者から「トランポリンを出してほしい」との要望があった。トランポリンの対象年齢が3歳以上であり、3歳未満の幼児が使用してケガをしたことがあったため倉庫にしまっていた。そこでトランポリンを含む倉庫内にある遊具の写真を掲示し、要望に応じて遊具を出すようにし、トランポリンの写真には「3歳以上」と明記し保護者に注意を促した。（写真あり）</p> 	<p>トランポリンを貸し出す際は、3歳以上が対象の遊具であることを重ねて保護者に注意喚起した上で使用してもらっている。また、写真掲示は「遊具が選べてよい」との言葉をいただいた。</p>	<p>平成31年1月</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>七郷児童館</p> <p>※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営</p>	<p>設置するチラシ類の種類が多く、利用者が情報を得にくい状態だった。そこで、チラシ類を立てて設置できる棚を作り、利用者が見やすく手に取りやすいように改善した。（写真あり）</p> 	<p>問い合わせがあった時にすぐにチラシ類を探すことができ、利用者をお待たせすることが減った。</p>	<p>平成30年9月</p>
<p>人来田マイル クール児童館</p> <p>※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営</p>	<p>小学校は安全対策のため常時閉門しており、乳幼児連れの保護者は大変不便な状況だった。そこで、来館時には電話で一報を入れていただくことで、職員が門を開閉し、下館時にも職員が付き添い開閉することとした。</p>	<p>児童館だよりでも周知を図り、認知度が高まってきた。抱っこをしたり、ベビーカーを押し回しているお母さん方が、乳幼児から手を放すことなく安全に出入りができるようになった。</p>	<p>平成30年10月</p>
<p>将監西児童館</p> <p>※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営</p>	<p>利用者からの声を踏まえ、玄関の段差を無くすために踏み台を設置した。</p>	<p>幼児親子が安心して靴の着脱を行うことができるようになったことで、利用者から好評を得ている。</p>	<p>平成31年1月</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
将監西児童館 ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	児童館の入り口壁面に、乳幼児親子向けの 行事を掲示したり、立て看板に児童館の PRや当日の行事予定、なぞなぞ等を書いて 設置したりしている。（雨天時を除 く。）	児童館前の歩道を通行する人が立ち止まって読んだり、児童 館に関心を持ってくれる人が増えたりした。	平成30年5月
鶴が丘児童セン ター ※（公財）仙台 ひと・まち交流 財団が運営	掲示板が古く暗い印象を与えるため、明る い色にリメイクした。室内の壁も古く汚れ が目立っていたため、ボードを貼り、装飾 を施した。	掲示板が人目を引くようになり、児童館活動のPR効果が高 まった。部屋の雰囲気明るくなり、特に乳幼児親子の利用 につながった。	平成31年3月